

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社鶏見製作所米子工場新大型ポンプ生産棟建設工事	階数	地上2F
建設地	鳥取県米子市夜見町字大水落三2674番地	構造	S造
用途地域	工業地域指定なし	平均居住人員	30人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,080時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年12月 予定	評価の実施日	2020年3月10日
敷地面積	29,231 m <sup>2</sup>	作成者	西松建設 下村 宏
建築面積	2,821 m <sup>2</sup>	確認日	2020年3月16日
延床面積	3,020 m <sup>2</sup>	確認者	西松建設 下村 宏



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 63% (29 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の 63% (29 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

④上記+ 63% (29 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

## 2. 西松建設 下村 宏

### Q 環境品質

Q のスコア = 2.6

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.1

### LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.6

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合 長寿命化と今後の拡張性が図られており、環境に対しても省エネルギー性とCO <sub>2</sub> 排出量の削減に努めている。	その他 特になし。	
Q1 室内環境 特になし。	Q2 サービス性能 空調・給排水管の長寿命化を図っている。 将来の用途変更の可能性に配慮し、階高、空間の形状・自由さにゆとりをもって設計している。	Q3 室外環境 (敷地内) 敷地内の屋外環境および周辺環境の品質向上に努める。
LR1 エネルギー 一次エネルギー消費量の低減に努めている。	LR2 資源・マテリアル 解体廃棄時における分別容易性などに努めている。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO <sub>2</sub> の低減に努めている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される